

久泉村歴史よもやま話

鎮守の森、天満宮境内の大木 (堤一夫編 参照)

第2次世界大戦(大東亜戦争)終戦前までは境内に、モミ松(モミの木)2本の大木をはじめ現存する棕の木(※2015年台風で倒木)の外にも、ドングリ・シイ・スギ・マツの大木が境内を取り囲んで、鎮守の森にふさわしい神々しさを誇っていました。また、お宮の西側の畑にもクスの大木が4本あり見事なものでした。ところが樟脳(しょうのう)の原料として切り倒されたり境内の夫婦モミ松の大木も、共有財産は進駐軍に没収されるとの噂が広がって、そんなことなら氏子で処分しようと殆どが切り倒され、氏子達で入札となり、その大半は下駄の材料となってしまいました。後では、この話は全くデマだったことが分かったものの、切った木は元に戻らず残念でありましたが、いかに終戦直後の世相が混乱していたかを如実に示す出来事の一つであったと思います。境内周辺の大木は当時樹齢300年を超えていたと思われます。中でも夫婦モミ松は見事で、国道3号線からの眺めは最高でした。



2代目棕の木

5月の誕生花 カーネーション

ナデシコ科ナデシコ属

お花いっぱい情報サイト
「EVERY FLOWERS」参照

学名/Dianthus caryophyllus

和名/オランダセキチク 原産地/地中海沿岸

名の由来

カーネーションは英名で、最初に記したのはイギリスのウィリアム・ターナーで、ラテン語の「肉の色」(カロ・カルニス)の意味からできた。また、この花を花輪、花冠にするので、その意味の「コロネーション」から誕生したの説もある。ダイアンサスは「神の花」という意味で「ローマに住むソニクスという女性はいつも太陽神アポロンの祭壇を美しく飾っていたが、何者かに殺されます。そこでアポロンは、彼女をカーネーションに変えた」という逸話がある。

花言葉 (赤)愛を信じる清らかな
(ピンク)美しいしぐさ
(白)貞節



衛生班長からのお願い

※ さくらネコ不妊去勢事業(NTR活動)

広川町では野良猫を捕獲し、不妊去勢手術を行い、そして捕獲した元の場所に戻す活動を推進しています。

昨年は試験的に川瀬区と一応区にて実施され約150匹の野良猫が捕獲・処置されました。

(目印に耳の一部をカットしています。)

本年度より対象が広川町全地区となり、野良猫被害でお困りの場合、衛生班長または広川町役場環境衛生課(0943-32-1138)まで情報提供をお願いします。

※ 犬のフンの後始末

常日頃より犬散歩時のフンの後始末にご協力いただき、ありがとうございます。

中学校南側の舗道で、放置された犬のフンが頻繁に見受けられています。違反者には罰金が科せられますので、見かけたら警察へ通報をお願いします。

深夜の公民館使用時のお願い

公民館の使用は原則22時までです。

また、深夜の駐車場での車のアイドリングや大声での会話は周辺の民家にご迷惑をおかけしますので、ご注意ください。

※駐車場ではエンジンを切る。

※進入路付近には車を停めない。

※夜、駐車場では話をしない。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

久泉公民館LINEに登録しましょう



久泉公民館LINEは左のQRコードをスキャンして登録してください。犬のフン害、ゴミの散乱等の写真情報も発信可能です。

■ 久泉区情報メール は右のQRコードから登録して下さい。

